



【アラスカ大学】

主催：日本国際教育学会 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター 北海道大学教育学研究院

後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道立北方民族博物館、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、公益社団法人北海道アイヌ協会、アラスカ姉妹都市（千歳市・帯広市・根室市・紋別市・佐呂間町・天塩町）、北海道国際理解教育研究協議会、北海道新聞社、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、NHK 札幌拠点放送局

Japan International Education Society

国際教育公開シンポジウム



共生社会における先住民族政策とは

— アラスカと北海道の結節点 —

＜＜ 完全オンライン方式に変更しました！！ ＞＞



2021年

10/9 (土)

15:15-17:15

会場参集はなく、完全オンライン方式に変更いたしました。

参加申込方法の変更はありません。

学会専用HPより、お申し込み願います。

参加申込み

学会専用HP

日本国際教育学会

<http://www.jies.gr.jp/>

【参加無料です】

日本国際教育学会

検索



申し込まれた方に ZOOM の ID をお送りします。

お問い合わせ

日本国際教育学会大会実行委員会
北海道教育大学釧路校 川前 あゆみ
kawamae.ayumi@k.hokkyodai.ac.jp
0154-44-3316 (直通)



【アラスカ大学ホールで先住民族文化祭典を開催】

アラスカと北海道は共通点が多く、今回はアラスカから共生社会の在り方を学びます。

● 報告者

① 伊藤 太陽 (Center for Human Development, University of Alaska Anchorage)

「アラスカ先住民族教育の歴史から考える民族共生」

② Jeffrey Joseph Gayman (北海道大学)

「北海道に生かすアラスカの先住民族共生活動の理念と実践」

③ 玉井 康之 (北海道教育大学)

「先住民族教育関係者の合意形成と共生社会化 — アラスカの先進性に学ぶ」

● 指定発言

岩崎 久和 (元アラスカ州アンカレッジ市立サンドレイク小学校教諭・元在アンカレッジ日本国総領事館職員)

「アラスカの小学校現場から見た共生社会」

● 司会

牛渡 淳 (仙台白百合女子大学)

境 智洋 (北海道教育大学)